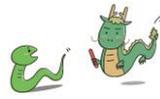




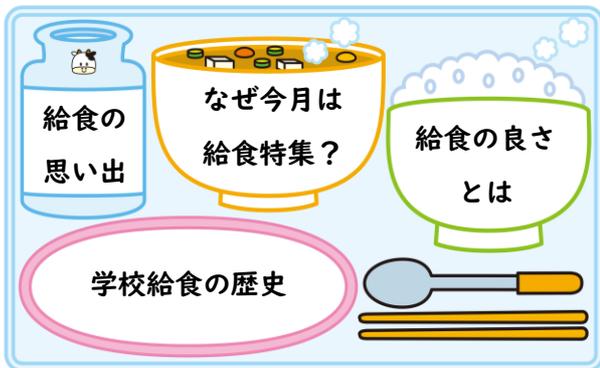
第1学年通信



宇部市立上宇部中学校

令和7年1月20日(月)

文責：鹿嶋 麻里江



学校給食の歴史

学校給食は明治22年(1889年)に始まったと言われています。今のような学校給食の形は昭和21年(1946年)から始まったようです。80年近く続いている給食の歴史のなかで、昭和生まれの私は20年くらい給食のお世話になっています。

20年の間に、ビン牛乳は数年前から紙パックの牛乳になりました。牛乳が瓶から紙パックに代わったことから、生徒の大好きなミルメークも粉末から液体タイプになりました。初めて、液体のミルメークが出た日は教室がざわついたことも給食の思い出として残っています。粉よりも液体の方が牛乳と混ざりやすいように感じました。寒い日の牛乳もミルメークがあれば、不思議とゴクゴク飲めてしまいます。いつの時代もミルメークは最強です！

日頃、食べ慣れないメニューこそ、一口でも食べてみて、未知なる食との遭遇を体験してほしいと思います。給食でしか食べられないようなメニューがあるかもしれません。



なぜ今月は給食特集？

「おいしい給食」

1980年代の中学校を舞台にしたテレビドラマ「おいしい給食」を見たことがありますか。生徒以上に給食を楽しみにしている男性教師がこのドラマの主人公です。彼は、教師としての威厳がなくなるからと給食好きであることをひたすら隠しています。ですが、給食を前にすると給食愛が全身から溢れ出て、喜びが炸裂してしまいます。1日の中で最も楽しみにしている給食時間に、男性教師が思いつかないような方法で給食を食べる“給食マニア”の男子生徒の存在が、主人公の心をざわつかせます。この2人の熱い給食バトルが熱く面白い学園コメディのこのドラマに魅了されてしまいました。「どちらがおいしく給食を食べるのか」静かで熱い戦いのこのドラマを見たからというわけではありませんが、今回の学年通信は給食に関することを書こうと思いました。

給食の良さとは

給食で出されるメニューは栄養計算がされていてバランス良く食事が摂れるとよく言われます。その他にも、

- ・節分、ひな祭り、七夕などの行事にちなんだメニューを食べられる
 - ・韓国料理や中華料理、それ以外にも世界各国の料理を味わうことができる
 - ・家庭ではあまり作らないような料理や味付けを体験できる
 - ・山口県の郷土料理や地元で採れた食材を味わうことができる
- という良さがあります。

給食の 思い出

年末年始で久しぶりに帰省し、保育園から中学校までずっと一緒だった友だちに会いました。話題は中学生の頃の部活動や先生の話。なかでも一番の盛り上がりを見せたのは学校給食の話でした。昼休みになっても給食を食べ終わるまでは「ごちそうさま」ができなかったこと。給食の量が多くて、パンを机の中にこっそり隠し入れて、食べたことにしていたこと。パンを机の中に入れてたまましばらく存在を忘れて、数日後にカピカピになったパンが机の奥から出てきたことなど、給食の話は尽きませんでした。こういう思い出話ができる友人がいることにも幸せを感じた冬休みでした。



「いただきます」と「ごちそうさま」

「いただきます」や「ごちそうさま」にあたる言葉は英語にはありません。オーストラリアでも、食事のときに「Looks delicious! (おいしそう!)」や「Smells so nice! (いいにおい!)」「Let's eat! (さあ、食べよう!)」の言葉は聞きましたが、「いただきます」にあたる言葉を聞いたことがありません。他の国でも、料理を作ってくれたり、提供してくれたりする相手が食べる人に「召し上がれ」のような言葉かけはあっても、食べる人自身が「いただきます」というような言葉を言う国はあまりないそうです。韓国には「いただきます」と「ごちそうさま」という言葉があります。「いただきます」は作ってくれた人が目の前にいるときには言うけれど、いないときには特には言わない。また、「ごちそうさま」は相手が目の前にいても、いなくても言うと、私の友人は言っていました。

わたしは毎朝、給食センターの横を通って通勤してきます。給食時間は30分はありますが、配膳準備等を含めると、実際に食べている時間は15分~20分くらいです。その15分~20分で食べている給食は15分~20分では作られません。野菜や肉、魚などの食材も同じです。短い時間では野菜は収穫できないし、肉や魚も長い時間をかけて育ったものです。また、そこには生産者の想いや努力も詰まっています。人の手がかかっていると思ったら、「あたりまえ」の給食は「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の気持ちになりました。

「ありがとう」の気持ちを込めて、今日も「いただきます」と「ごちそうさま」を私は言おうと思います。



1月24日から30日は学校給食週間です。

今回の学年通信は、給食のことばかりで、「給食だより」ではないのかと思われそうです。

食事と健康は私たちの生活には欠かせないものです。

ちなみに、1月17日から2月2日までが「冬の土用」期間のようです。「土用」というと夏の印象が強いですが、冬にもあるそうです。体調を崩しやすくなる時期でもありますので、体調にお気をつけください。今年もよろしく願いいたします。

